

中学部

区分		学年	単 一 学 級			重 複 学 級		
			1	2	3	1	2	3
各 教 科	必 修 教 科	国 語	140 (35)	140 (35)	140 (35)	105 (70)	105 (70)	105 (70)
		社 会	35 (18)	35 (18)	35 (18)	17 (35)	17 (35)	17 (35)
		数 学	123 (35)	123 (35)	123 (35)	35 (70)	35 (70)	35 (70)
		理 科	35	35	35	18	18	18
		音 楽	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)
		美 術	70	70	70	70	70	70
		保健体育	122	122	122	87	87	87
		職業・家庭	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)
		外国語	35	35	35	0	0	0
		選 択 教 科						
	道 徳 科	10 (25)	10 (25)	10 (25)	10 (25)	10 (25)	10 (25)	
特別活動	学級活動	35	35	35	35	35	35	
	自立活動	35 (52)	35 (52)	35 (52)	158 (70)	158 (70)	158 (70)	
合 わ せ た 指 導	遊びの指導	0	0	0	0	0	0	
	日常生活の指導	165	165	165	165	165	165	
	生活単元学習	0	0	0	105	105	105	
	作業学習	70	70	70	70	70	70	
	総合的な学習の時間	35	35	35	35	35	35	
	年間総授業時数計	1050	1050	1050	1050	1050	1050	
	週当たり授業時数	30	30	30	30	30	30	
始業時刻 8時40分			終業時刻 14時55分					

教育課程編成上の留意点

- ・主体性や社会性を育て、基本的な生活習慣、基礎学力、体力の育成を重視することを考慮した教育課程を編成する。
- ・心身の発達や障害の実態等に応じた指導ができるようグループを編成し、学習を充実させる。
- ・キャリア教育の視点から、小学部の図工、生活単元学習等で培ってきたものづくりへの姿勢や体験を受けて、中学部の作業学習や職業・家庭を実施する。生活や働くことに対して興味・関心を持ち、その基礎となる知識、技能、主体的に取り組む態度を養えるようグループ化し、学習内容を工夫して高等部へつなげる。
- ・中高合同の作業学習や進路学習等の時間を設けることで、高等部との連携を図る。
- ・生徒が個々の自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するための自立活動の時間を確保し、内容を充実させる。

※表中（ ）内は「合わせた指導」に内包する時間数